

【**修正版**】第 79 回国民スポーツ大会陸上競技選手選考基準

Ver. 20250630

(一財) 栃木陸上競技協会 強化委員会

赤字黄色塗りつぶし箇所について追記しました。

1. 国民スポーツ大会予選競技会 ※栃木陸協の指定する国スポ参加資格が取得できる大会

- 栃木陸上競技協会記録会（第 1 回、第 2 回、第 3 回）
- 栃木県陸上競技春季大会
- 栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会
- 栃木県陸上競技選手権大会
- 全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会
- 国民スポーツ大会陸上競技栃木県予選会 兼 国スポ選考記録会

※上記 1. の国民スポーツ大会予選競技会のいずれかに出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる（下記 2. の選考対象競技会のみ出場では選考対象外。但し、トップアスリート参加資格特例措置対象者等の特例を除く）

※少年 B 種別の種目で、国民スポーツ大会（本大会）に出場意志がある選手は、国民スポーツ大会陸上競技栃木県予選会の「国スポ少年 B」の該当種目に必ず出場すること。ただし、少年 B 種別の選手が、該当種目およびリレー種目等において、インターハイ出場が決まっている場合はこの限りではない。（赤字黄色塗りつぶし箇所追記しました。2025. 06. 30）

2. 選考対象競技会（参考競技会）

※選考する際には以下の競技会の実績も参考とする。

- 1) 成年
日本選手権・日本グランプリシリーズ（プレミア含む）・各地区インカレ・各地区実業団・日本学生個人選手権、日本インカレ
- 2) 少年 A・B・共通（高校生）
関東高等学校陸上競技大会・全国高等学校陸上競技選手権大会
- 3) 少年 B・共通（中学生）
栃木県中学校総合体育大会陸上競技大会

3. 選考基準

- 1) 選考対象記録の有効期間は、2025 年 4 月 1 日～2025 年 7 月 20 日までとし、全国ランキングは、選考会議までに陸上競技ランキングに反映されたものを参照する。（長距離種目においては、2024 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までも参考記録とする）
- 2) 国スポにおいて入賞する可能性が高いと判断（概ね全国ランキング 16 位程度まで）される選手がいる種目から総合的に判断して選考する。その際の優先順位は以下の通りとする。※少年種別は種別県別ランキング

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ①日本選手権上位入賞者 | ②全国ランキング上位者（概ね全国ランキング 16 位程度まで） |
| ③リレー編成 | ④その他 |

- 3) 日本選手権大会上位入賞者は優先的に選考対象とする。
- 4) 上記優先順位④その他の選考選手は、栃木県陸上競技選手権大会（少年 B 種別は国スポ栃木

県予選競技会) および各種選考対象競技会 (参考競技会) の結果やランキング等について総合的に判断し、実績のある者を選考する (国スポ入賞可能性がある候補者が複数存在する場合を含む)。

- 5) 特に少年A・共通種別において、3. 選考基準 項目3) および4) で決定できない場合 (今季ベスト記録に差がない、または、全国高校総体・関東高校総体等で入賞者が複数いるなど判断できない場合) は、全国高校総体の結果を重視して選考する。また、特筆する結果がないなど判断できない場合は、1. 国民スポーツ大会予選競技会および2. 選考対象競技会 (参考競技会) の結果について総合的に判断して選考する。
- 6) リレー種目については、リレーの特性が活かされるメンバー編成を考慮して選考する。特に、混合4×400mRの選考については、200m および 400m の記録を重視する (上記 1. 国スポ予選競技会または2. 選考対象競技会のいずれかで400mに出場していることが望ましい)。但し、リレー種目のチーム編成に関して次のような状況の場合は編成しないこともあり得る。
○リレー編成メンバーのうち個人出場種目での選考者が複数いない場合。
- 7) 上記の過程による選考を終えても国スポ出場最大枠である 29 名に満たない場合は、29 名以下での選考もあり得る。

4. 確認事項・その他

- 1) 国民スポーツ大会に参加意思がある競技者は、以下の参加人員・出場制限・国スポ参加資格等について (選手用) 」を必ず一読してください。
- 2) 全国ランキングの数字が、国スポ候補選手の内定と直結するとは限りません。
- 3) 選考対象選手であっても、選手選考時点で怪我や疾病等の問題が生じている選手については選考されない場合があります。
- 4) 国スポ候補選手の内定 (決定) については、(一財) 栃木陸上競技協会 理事会の承認を経た後、所属長宛または本人宛に決定通知を郵送します。(8月上旬頃までに)
- 5) 選手内定 (決定) 後に、怪我や疾病等の問題が生じた選手や栃木県を代表とする国スポ選手として不適切な行動が確認された選手については、選手変更をする場合があります。
- 6) 内定 (決定) 後は、パーソナルコーチと強化コーチとの連携を密にとり、ケガ無く国スポまでの準備と調整を進めてください。

(参加人員・出場制限・国スポ参加資格等)

※以下の内容は実施要項の公表により変更となる可能性がある

【参加人員】

- 選手団編成：監督2名、選手29名（男子選手19名以内、女子選手19名以内）計31名以内で編成する。監督、選手の兼務は1名とする。この場合は参加選手を30名とすることができる。

【出場制限】

- 1種目1名、同一人の出場は2種目までとする。ただし、リレーは除く。
- （一財）栃木陸上競技協会が定める上記1. の県国スポ予選競技会に出場しなかった選手、または出場しなかった種目については選考対象外となる。（予選会免除対象大会出場者およびトップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置を除く）ただし、1種目の予選のみに出場し、その種目の代表選手となった者は、予選に出場しなかった他の1種目にも出場することができる。
- 4×100mリレーチームの編成は、男女とも成年、少年A、少年Bから各1名、残りの1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。
- 男女混合4×400mリレーチームの編成は、男女2名ずつとし、男女とも少年Aもしくは少年Bから各1名、残りの男女各1名は成年、少年A、少年Bのいずれかの種別とする。なお、走順は男子-女子-男子-女子とする。
- リレーに出場する者は、予選会のどの種目であっても参加していれば出場できる。
- 成年女子10000m競歩の出場者は、5000m競歩の予選会を経た者でもよい。少年男子A5000m競歩、少年女子A5000m競歩の出場者は、10000m競歩又は3000m競歩、いずれかの予選会を経た者でもよい。
- 成年男子3000m障害には、少年男子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年男子又は少年男子、いずれかの1名のみとする。
- 成年女子走高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子、いずれかの1名のみとする。
- 成年女子棒高跳には、少年女子からもエントリーできる。ただし、各都道府県からエントリーできるのは、成年女子又は少年女子、いずれかの1名のみとする。
- 少年男子B3000mの出場者は、1500mの予選会を経た者でもよい。
- 成年男子300m・少年男子A300m・成年女子300m・少年女子A300mの出場者は、100m、200m、400mいずれかの予選会を経た者でもよい。
- 少年男子A300mハードル及び少年女子A300mハードルの出場者は、200m、300m、400m、110mハードル/100mハードル、400mハードルいずれかの予選会を経た者でもよい。
- 少年女子A2000m障害の出場者は、2000m障害の予選会を経た者のみとする。

【参加資格】

- 日本国籍であること。
（日本国籍を有しない場合は、（ア）在留資格が永住者、（イ）少年種別に該当し「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する少年種別の学生又は生徒で1年以上在籍している。また、在留資格が「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当すること、（ウ）成年種別は、少年種別の際に上記（イ）に該当し、大会参加時から終了時まで在留資格が「留学」に該当しないこと。）
- 日本国籍を有しない者については、学校教育法第1条に定める学校に在籍する生徒に限り、少年の種別に各都道府県、男女各1名以内で参加することができる。【陸上競技】
- 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ3、4（以上、JAAF公認コーチ）または、公認陸上競技コーチ1、2（以上、JAAF公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。
- ふるさと選手制度については、第79回国民スポーツ大会実施要項総則5（別記1を含む。）の規程による。

<永住権を有する外国籍競技者の参加>

原則参加申込締切日までに、永住者だとわかる「在留カード」または「在留資格認定証明書」のコピー

を提出すること。

- 特別大会または第 78 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）に栃木以外の都道府県から出場していないこと。

※例外：【成年種別】【少年種別】ともに別途第 79 回国民スポーツ大会実施要項総則 5（1）ウ参照

- 第 79 回国民スポーツ大会におけるトップアスリート参加資格特例措置対象者（該当種目に限る）については、（公財）日本スポーツ協会が定める特例の内容に準じる。
- その他の参加資格・条件については、別途大会実施要項（総則）および別紙「国民スポーツ大会参加資格について（選手用）」を参照。

※下線部分は昨年度からの主な変更または修正箇所。太下線部分は重要箇所。